

水位データ集録装置 (NetLG-001) 電池交換方法

1. 電池残量の確認

1.1. 通信ポートの接続

ネットワークコントローラ (NetCT-1) と水位データ集録装置 (NetLG-001) の通信ポート同士を接続します。

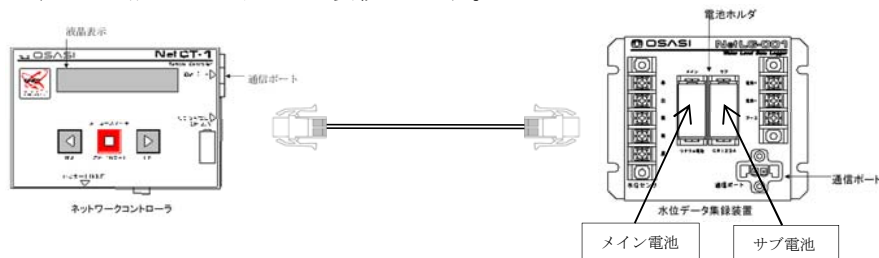


図1-1. 機器の接続

1.2. 電池残量の確認

”表示” ボタンを1秒間押し起動画面を表示させます。”UP” ボタンを4回押すと液晶表示に”デンゲン”が表示されます。

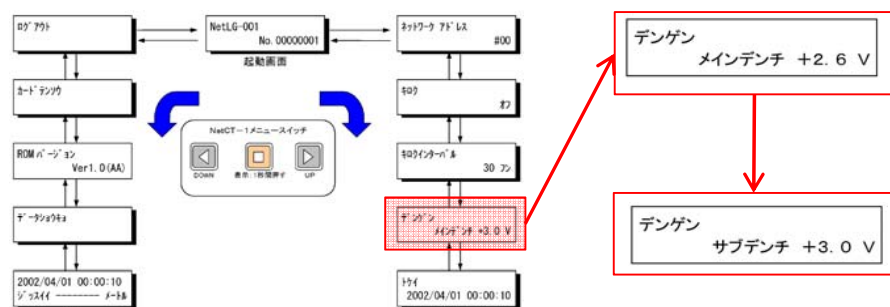


図1-2. メニュー画面

液晶表示の”デンゲン”の”メインデンチ”が+2.6Vまたは+2.7Vを表示していると、電池容量が低下してきています。電池容量が低下しますと”サブデンチ”に切り替わりますのでメイン電池の交換必要になります。

電池型式：CR123A（リチウム電池）

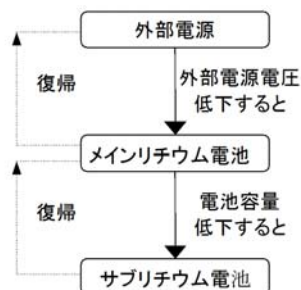


図1-3. 電源以降の概要

- ①.”メインデンチ”の表示が**2.6V**または**2.7V**以上ある事を確認します。
- ②.メイン電池を取り外しサブ電池の残量を確認します。
- ③.メイン電池を取外すと液晶表示が”サブデンチ”に切替ります。
- ④.”サブデンチ”の表示が**3.0V**以上ある事を確認します。

2. 電池交換作業

- ①. 電池ホルダからサブ電池を取り外します。
取出したサブ電池は後で使用しますので手元に置いておきます。
- ②. 電池ホルダのサブ電池の場所へ新品のリチウム電池を入れます。
- ③. 電池ホルダのメイン電池を取り外します。
- ④. 電池ホルダのメイン電池の場所へ①で取り外した電池を入れます。

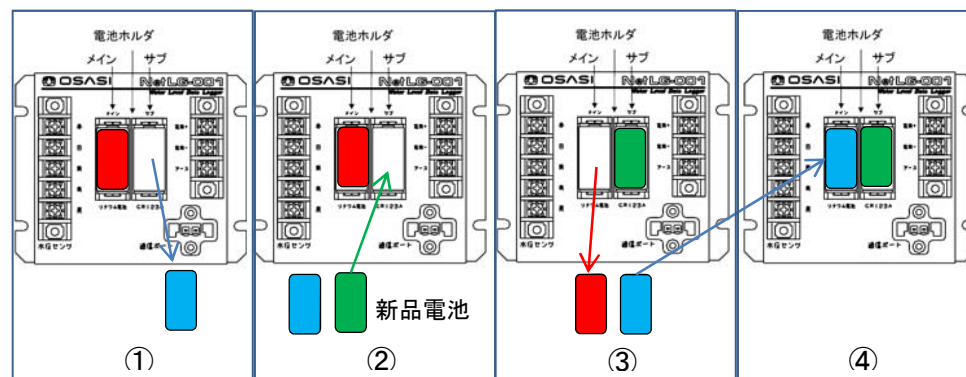


図2. 電池交換作業

*リチウム電池を両方外しても再度電池を入れれば計測を継続します。

3. リチウム電池による稼働日数

右表は、メイン電池1個と主なインターバルの組合せによる稼働日数表です。ただしOSNETネットワークとの通信頻度が高くなると稼働日数は減少します。表の「1分間の通信で減る日数」を参考にしてください。

サブ電池との合計では、稼働日数が約1.9倍になります。また表はリチウム電池に0.7の環境係数を掛けた値で計算されています。したがって周囲温度が比較的高い場合、表の日数より稼働日数が増えることが予想されます

水位 インターバル	稼働日数	1分間の通信 で減る日数
1 秒	1.9 日	0.001 日
2 秒	1.9 日	0.001 日
5 秒	4.7 日	0.002 日
10 秒	9.2 日	0.004 日
15 秒	13.7 日	0.006 日
20 秒	18.1 日	0.008 日
30 秒	26.5 日	0.012 日
1 分	49.5 日	0.022 日
2 分	87.5 日	0.039 日
5 分	162.5 日	0.073 日
10 分	227.5 日	0.102 日
15 分	262.5 日	0.118 日
20 分	284.4 日	0.128 日
30 分	310.2 日	0.139 日
1 時間	341.3 日	0.153 日
2 時間	359.2 日	0.161 日
3 時間	365.6 日	0.164 日
6 時間	372.3 日	0.167 日
12 時間	375.7 日	0.169 日
1 日	377.4 日	0.169 日